

# 令和元年度事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

社会福祉法人 有田つくし福祉会

## 1 法人の概要

主たる事務所所在地 …… 和歌山県有田郡湯浅町大字栖原187番地の1

電話番号 …… 0737-64-1866

代表者氏名 …… 理事長 西林久子

法人認可年月日 …… 平成12年7月14日

法人認可番号 …… 441

設立登記年月日 …… 平成12年7月21日

## 2 法人の行う事業

事業の種類 …… 第2種社会福祉事業

拠点区分「つくし」

名称 …… つくし共同作業所

事業種別 …… 生活介護・就労継続支援B型（多機能型）

施設長名 …… 野下康雄

定員／日均利用者数 …… 35人／35.9人

全職員数／支援職員常勤換算 …… 20人／11.7人（年度末時点：併設分を含む）

備考 …… 利用契約者数：43人（年度末時点）

名称 …… つくしんぼショート

事業種別 …… 障害者・児童日中一時支援（市町村所管：つくし共同作業所に併設）

拠点区分「早月」

名称 …… 早月農園

事業種別 …… 就労継続支援B型

施設長名 …… 泉 秀和

定員／日均利用者数 …… 20人／17.4人

全職員数／支援職員常勤換算 …… 13人／5.3人（年度末時点）

就労支援事業指導員数 …… 2人（年度末時点）

備考 …… 利用契約者数：24人（年度末時点）

拠点区分「オリーブ」

名称 …… カフェ&ベーカリー・オリーブ

事業種別 …… 就労継続支援B型

施設長名 …… 有本 光

定員／日均利用者数 …… 20人／17.2人

全職員数／支援職員常勤換算 …… 6人／4.4人（年度末時点）

就労支援事業指導員数 …… 6人（年度末時点）

備考 ……利用契約者数：22人（年度末時点）

拠点区分「あっぷる」

名称 ……あっぷるホーム

事業種別 ……共同生活援助、短期入所（共同生活援助に併設）

施設長名 ……野下康雄

定員／日均入居者数 ……12人／10.7人

短期入所定員／日均利用者数 ……4人／1.5人（延べ543人）

職員数／支援職員常勤換算 ……14人／夜勤分を除き5.2人（年度末時点：併設分を含む）

備考 ……入居契約者数：12人（年度末時点）

共同生活住居（ホーム）2箇所

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし

事業種別 ……一般相談支援、特定・障害児相談支援、市町村相談支援（受託）、  
長期入院精神障害者地域移行促進事業（受託）

施設長名 ……長尾正子

職員数 ……4人（公益事業を含む）

名称 ……有田圏域基幹相談支援センターあねっと

事業種別 ……基幹相談支援センター等機能強化事業（受託）

職員数 ……1人

備考 ……和歌山県福祉事業団と共同受託 事業所は同事業団内

事業の種類 ……公益事業

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし

事業種別 ……在宅リハビリテーション推進強化事業（受託）

備考 ……本事業は第2種社会福祉事業の有田地域生活支援センターつくし  
と一体的に運営し、会計も同一拠点区分として処理している。

### 3 定款変更の状況

なし

### 4 役員・評議員の状況

役職	氏名	就任年月日	就任要件の区分
理事長	西林久子	令和元年6月28日	社福事業の経営に識見を有する者
理事	馬谷哲雄	令和元年6月28日	事業区域の福祉の実情に通じている者
理事	鬼松光夫	令和元年6月28日	事業区域の福祉の実情に通じている者
理事	刑部悦代	令和元年6月28日	事業区域の福祉の実情に通じている者
理事	玉置春樹	令和元年6月28日	事業区域の福祉の実情に通じている者
理事	長尾正子	令和元年6月28日	事業区域の福祉の実情に通じている者
理事	野下康雄	令和元年6月28日	施設の管理者

監事	岡八重子	令和元年6月28日	財務管理に識見を有する者
監事	田宮正彦	令和元年6月28日	社会福祉事業に識見を有する者
評議員	家本欣明	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	境久	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	竹中信義	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	栩野さえ子	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	中西久光江	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	藤原さよみ	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	松下加壽美	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者
評議員	松本伊央	平成29年4月1日	社福法人の適正運営に識見を有する者

## 5 評議員会・理事会開催状況

### ◇ 評議員会

定時 令和元年6月28日（出席：評議員5人・監事1人）

議事内容

- 1 平成30年度事業報告・決算について…………… 原案通り承認
- 2 役員を選出について…………… 原案通り承認

### ◇ 理事会

第1回 令和元年6月12日（出席：理事7人・監事2人）

議事内容

- (報告) 1 理事長職務執行状況の報告…………… 報告を確認
- (議決) 1 平成30年度事業報告・決算について…………… 原案通り承認
- 2 定時評議員会の招集について…………… 誤記を訂正して承認

第2回 令和元年6月28日（出席：理事7人・監事1人）

議事内容

- (議決) 1 理事長の選出について…………… 原案通り承認

第3回 令和元年8月21日（決議省略回：決議があったとみなされた日時）

決議があったとみなされた事項

- 1 運営規程改定…………… 全役員異議なし

第4回 令和元年11月12日（出席：理事6人・監事1人）

議事内容

- (報告) 1 理事長職務執行状況の報告…………… 報告を確認
- (議決) 1 令和元年度補正予算案について…………… 原案通り承認
- 2 経理規程の改定について…………… 原案通り承認

第5回 令和2年3月25日（出席：理事6人・監事2人）

議事内容

- (報告) 1 理事長職務執行状況の報告……………報告を確認  
 (議決) 1 令和元年度第2次補正予算案について……………原案通り承認  
 2 令和2年度事業計画・予算について……………原案を変更して承認  
 3 運営規程の改定について……………原案通り承認  
 4 就労支援事業の剰余金について……………原案通り承認  
 5 ありだ農業協同組合への組合員加入申し込みについて……………原案通り承認  
 6 その他……………原案通り承認

## 6 主務官庁による監査等実施状況

主務官庁	監査等実施日	対象
和歌山県有田振興局	令和元年12月9日	有田地域生活支援センターつくし(一般相談支援)
和歌山県障害福祉課	令和2年1月28日	カフェ&ベーカリー・オリーブ(就労継続支援B型)
和歌山県障害福祉課	令和2年1月29日	つくし共同作業所(生活介護・就労継続支援B型)
和歌山県障害福祉課	令和2年1月29日	社会福祉法人有田つくし福祉会(法人)

## 7 許可・認可・および承認に関する事項

なし

## 8 法人運営に関する特記事項

なし

## 9 運営の状況

### ◇ 法人運営

平成30年度決算で大幅な赤字となり手元資金が減少したことによる危機感から、本年度は収支・財務状況の改善が最優先となった。事業収益増への努力と人件費を含めた経費削減の取り組みにより、本年度決算の収支は概ね一般的な水準まで回復した。しかしながら経費削減は一過性の要素も否めず、また手元資金は様々な運営リスクに備えるには不十分であり、今後も本質的な経営改善への努力が必須である。

年度末には新型コロナウイルス流行による混乱に巻き込まれることとなった。福祉事業への影響は軽微であったが、就労支援事業では2月から影響が顕著に表れ、収益は2月17.6%減・3月22.3%減(法人全体)となった。

### 1、評議員会・理事会の開催

定時評議員会において前年度事業報告・決算、新任期の役員選出を行った。

また理事会は、前年度事業報告・決算、新任期の理事長選出、諸規程改定、予算補正、次年度事業計画・予算などの案件について、計5回(うち1回は決議省略回)行った。

### 2、事業の整備

数年来事業整備に大きな投資を続けてきたが、日中活動事業については一部を除き定員にかなり空きが出来たことや法人の財務事情により、本年度は事業形態に大きな変更はなかった。

「つくし共同作業所」(就労継続支援B型・生活介護)は、生活介護(定員8)の利用者増により9月から定員を10とした。「早月農園」・「カフェ&ベーカリー・オリーブ」(各就労継続支援B型)・「つ

くしんぼショート」(日中一時支援)、及び「あっぷるホーム」(共同生活援助・短期入所)、「有田地域生活支援センターつくし」(一般相談支援ほか)・「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」(基幹相談支援センター)についてはいずれも従来どおりの体制で行った。

### 3、職員の資質・専門性の向上など

年間研修計画を作成し、研修の重要性、職員間の必要性・公平性を考慮しながら職員研修を実施した。運営上重要なものとしては、相談支援従事者現任研修を1名が修了・サービス管理責任者更新研修を1名が修了・サービス管理責任者基礎研修を2名が修了した。

全職員対象の法人内研修を外部講師(苦情解決)・法人内講師(対人援助)の計2回実施した。そのほか外部研修では、障がい福祉施策の解説・動向、労務管理、利用者支援として虐待防止(民間主催)・人権擁護・強度行動障がい・精神障がい等、就労支援では農福連携、食品衛生(本年度はとくにHACCP)、その他コミュニケーションやリーダー養成などの分野に参加した。なお年度末に予定されていた虐待防止・権利擁護研修は2名が受講決定していたが、新型コロナウイルス関連で中止となった。

### 4、対外活動など

定例的な地域交流行事として、早月農園で「喫茶はやつき」(毎月)、カフェ&ベーカリー・オリーブ(以下「オリーブ」)で「オリーブ秋まつり」(10月)、後援会・保護者会と協同して「つくしバザー」(11月)を開催した。ほか地域団体主催の「ふれあい夏まつり」参加や、地元文化祭への出展、地域行事への参加・販売などを行った。

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとして、早月農園を実施拠点にした「地域の高齢者家庭への昼食弁当無料提供事業」を行い、和歌山県社協主宰による「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協同プロジェクト」に参加した。

後援会・保護者会及び地域のボランティアから、訪問販売や地域行事での物品販売、就労支援商品化、農作業指導、物品寄付等の協力をいただいた。

誌面の「つくしだより」及びインターネットホームページで事業紹介や情報開示を行い、ブログ・フェイスブック・インスタグラム等により就労支援事業の販促を行った。

## ◇ 各事業

### 1、拠点区分「つくし」

「つくし共同作業所」(生活介護・就労継続支援B型)

「つくしんぼショート」(併設：日中一時支援)

#### ①事業・定員

・生活介護(定員8→10)・就労継続支援B型(定員25)を多機能型として、及び併設事業として日中一時支援(つくしんぼショート：地域生活支援事業)を行った。

#### ②支援内容

生活介護

・日常生活支援：毎日の体調チェック(看護職員)、体重測定・散歩・体操・腹筋運動、定期的買い物・公共施設利用・ドライブ・足浴・音楽療法・創作的活動など、及び服薬・食事・整容・排泄等の支援を行った。

・生産活動：生活介護班として主として企業・農家からの下請け作業

・年間延べ利用者数は2,619人(前年度+264人 1日あたり10.0人 定員比100%)

就労継続支援B型

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：家庭用品等の下請け、パン訪問販売・配達、さをり織り、廃品リサイクルなど。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習、一般就労に至った事例は無かった。
- ・年間延べ利用者数は6,775人（前年度△434人※ 1日あたり25.9人 定員比103.6%）  
（※前年度は6月まで出張所分を含む）

#### 事業間共通

- ・給食サービスを提供した。必要な利用者にはアレルギー除去食・刻み食を提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回行った。生活介護以外の利用者も、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、消防立会と自主訓練を1回ずつ行った。また警察の指導による防犯訓練（職員のみ）を行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、自主行事として「オリーブ秋まつり」参加や忘年会を行ったほか、地域団体等主催の行事に参加した。
- ・合計の年間延べ利用者数は9,394人、1日あたり利用者数は35.9人であった。
- ・送迎サービスの延べ利用回数は12,383回（片道1回の計算）、送迎利用率は65.9%であった。

#### 日中一時支援

- ・有田地方自治体とつくし共同作業所の併設事業として契約を継続した。
- ・ここ数年は利用が極めて低水準であるが、本年度は利用実績が無かった。

### ③生産活動（生活介護・就労継続支援B型計）

#### <事業収入>

収入額合計 8,725,198円（前年度比84.4%：

前年度は事業所分離と集計法変更があり参考値）

訪問販売……………3,726,721円（前年度比59.6%：同）

下請け・さをり等……………4,998,477円（前年度比122.5%）

#### <利用者工賃（賃金）>

配分額合計 8,228,105円

##### 就労継続支援B型

平均月額……………20,559円（前年度△639円） 県標準算出法による

平均時給額……………230円（前年度△11円） //

年間最高額……………395,024円

##### 生活介護

平均月額……………7,939円（前年度△1,544円） 県標準算出法による

平均時給額……………82円（前年度△12円） //

#### 下請け・さをり事業

- ・下請け作業として業者からの家庭用品・農家から出荷ダンボール組み立て等、さをり織り、リサイクル作業としてアルミ缶ほか廃品類の回収・出荷作業、及び年度途中まで煎餅製造・販売（以後は事業所間の役割分担としてオリーブへ移管）を行った。

#### パン訪問販売事業

- ・有田圏域のうち主として有田市・湯浅町・広川町地区においてオリーブのパン訪問販売をおこなった。

### ④その他

生活介護は実利用者数が定員を超過し、事業者報酬が7月分から定員超過減算の対象となったため、急遽定員増の手続きを行い9月から定員を10とした。減算は10月分から解消した。

## 2、拠点区分「早月」

### 「早月農園」(就労継続支援B型)

#### ①事業・定員

・就労継続支援B型(定員20)を行った。

#### ②支援内容

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：農業に関する作業、パン訪問販売など。従来にならない両者には明確な活動班の区分を設けず、当日の体調など状況を見て班分けを行った。
- ・農業の屋外作業について、夏期は事業所の支援時間を長く設定し、その分休憩時間を長くした。その他暑さ対策を入念に行った。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習、一般就労に至った事例は無かった。
- ・給食サービスを提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回を行ったほか、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、自主訓練を2回行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」を行った。自主行事として地域交流を兼ねた毎月の「喫茶はやつき」、レクリエーション(バーベキュー、映画鑑賞等)、忘年会などを行った。また地域団体等主催の行事に参加した。
- ・年間延べ利用者数は4,539人(前年度+235人 1日あたり17.4人 定員比87.0%)
- ・送迎サービスの延べ利用回数は8,936回(片道1回の計算)、送迎利用率は98.4%であった。

#### ③生産活動

##### <事業収入>

収入額合計 16,214,227円(前年度比99.8%)

農業……………13,705,553円(同98.9%)

訪問販売……………2,508,674円(同105.2%)

##### <利用者工賃(賃金)>

配分額合計 7,157,556円(前年度比102.0%)

平均月額……………30,801円(前年度+520円) 県標準算出法による

平均時給額……………331円(前年度△21円) //

年間最高額……………757,600円

・工賃実績は3年連続で月額30,000円以上となった。

##### 農業事業

- ・果樹園による果樹栽培、露地・ビニルハウスによる野菜類栽培を行い、出荷、販売した。
- ・事業収入は、果樹が前年度の台風被害の影響に加え裏年となり、夏野菜の好調と新たに投資して乾燥山椒の出荷を始めたものの、全体ではほぼ横ばいに近い微減であった。
- ・栽培品種は概ね変わらず、みかん・はっさく・梅等の果樹、白菜、レタス、ふき、ブロッコリー、菜花、玉ねぎ、じゃがいも、里芋、ヤーコン、かぼちゃ、きゅうり、ししとう、なすび、ミニトマト、ピーマン、パプリカ、とうもろこし、ゴーヤ、オクラ、まめ、小豆、ニラ、椎茸、

山椒、その他であった。

- ・収穫物を利用した自主製品として、ジャムや切り干し大根、ジュースを製造し販売した。

#### パン訪問販売事業

- ・事業所地元の有田川町地区において、オリーブのパンの地域訪問販売をおこなった。
- ・事業収入は5%増であった。山間部で同業者が少ないため地域から大変喜ばれ、堅調な需要に支えられた。但し販売エリアが広大で、仕入れ・拠点（早月）・販売と移動距離が長く、体制を工夫して対応した。

#### ④その他

- ・借受農地（合計4.6ha）の管理のため、引き続き就労支援事業指導員の雇用と地元農家への業務委託を行った。
- ・前年度の大型台風で倒壊した農地の簡易休憩所と屋外トイレの代替として、新休憩所の建築と既存倉庫内に簡易トイレを設置した。

### 3、拠点区分「オリーブ」

#### 「カフェ&ベーカリー・オリーブ」（就労継続支援B型）

##### ①事業・定員

- ・就労継続支援B型（定員20）を行った。

##### ②支援内容

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：「カフェ&ベーカリー・オリーブ」におけるパン等製造・店頭販売、喫茶運営、訪問販売・納品などをおこなった。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習、一般就労に至った事例は無かった。
- ・給食サービスを提供した。必要な利用者にはアレルギー除去食を提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、自主訓練を2回行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、自主行事として「オリーブ秋まつり」や忘年会、レクリエーションとして買い物やハーバリウム体験などを行った。また地域団体等主催の行事に参加した。
- ・年間延べ利用者数は4,491人（前年度+1,822人※ 1日あたり17.2人 定員比86.0%）  
（※前年度は7月以降の9ヵ月実績）
- ・送迎サービスの延べ利用回数は3,368回（片道1回の計算）、送迎利用率は37.5%であった。

##### ③生産活動

###### <事業収入>

収入額合計 31,389,974円（前年度比105.3%：

前年度は事業所分離と集計法変更があり参考値）

店頭販売・・・19,290,275円（前年度比101.9%：同）

卸ほか・・・・・・8,643,415円（前年度比101.2%：同）

訪問販売・・・・・・3,456,284円（前年度比147.1%：前年度は8月以降）

###### <利用者工賃（賃金）>

配分額合計 9,478,756円



平均月額…………… 38,497 円（前年度+2,531 円） 県標準算法による

平均時給額…………… 413 円（前年度+6 円） //

年間最高額…………… 1,092,509 円

- ・工賃実績は月額40,000円に迫る金額となった。

#### パン事業

- ・自家製生地によるパンの製造・店頭販売、訪問販売、訪販を行う法人内他事業所への卸売、地域の店舗への納品・委託販売などを行った。また店舗内に併設したカフェスペースで喫茶運営を行った。本年度途中から新たに煎餅製造・販売をつくし共同作業所から移管した。
- ・製造・販売を行う店舗という事業所の特徴を生かし、法人内で最も一般就労の勤務に近い形態（繁忙時間帯を考慮した出退勤時間の設定など）で行った。
- ・事業収入は全体で5.3%増（参考値）であった。新型コロナウイルス流行に伴い年度末の2ヵ月が21%の大幅減であったが、店頭・卸売とも年間では微増を確保し、訪問販売を初めて通年で行ったことにより全体の数字では増加となった。
- ・店舗の販促行事として、6月に11周年フェアを行った。また10月に地域交流を兼ねた「秋まつり」を開催した。

#### ④その他

- ・前年度途中につくし共同作業所と分離してから初めての通年実績となった。増築で各スペースに余裕ができ、利用実績・工賃実績とも順調に推移した。
- ・店舗の付加価値を高める施策に従来より取り組んでいるが、本年度は店舗・訪販ともQRコード決済に対応した。

## 4、拠点区分「あっぷる」

### 「あっぷるホーム」（共同生活援助）

（併設：短期入所）

#### ①事業・定員

- ・共同生活援助（定員12：男性6女性6の2住居）及び併設事業として短期入所（定員4：男性2女性2）を行った。

#### ②支援内容

- ・夜間の支援について、引き続きキーパー（世話人・生活支援員）が各住居で夜勤として勤務する体制で実施した。また、時折発生する緊急の医療機関受診や入院等に柔軟に対応できる体制を整えた。
- ・週1回看護師が出勤し、定期的に血圧等の体調チェックを行った。
- ・外部医療機関による健康診断を1回行った（自らの職場等で行う方は除く）。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、自主訓練を1回、防災勉強会を2回に分けて行った。
- ・8月にホーム入居者による日帰り旅行（アドベンチャーワールド）を実施した。
- ・住居間合同で食事会やクリスマス会を行った。また法人全体で「つくし運動会」を行った。
- ・支援の課題や情報を共有するため、定期的に職員連絡会議（各キーパー及びサービス管理責任者・管理者など）を開催した。
- ・共同生活援助の入居者は前年度から変化は無く、当法人の日中活動サービス利用者及び一般就労者、他法人の日中活動サービス利用者であった。それぞれ必要な箇所と連絡を取り合い伝達

事項等に注意した。

- ・共同生活援助について、1年を通じて契約者数は12人（定員空きなし）であった。年間延べ利用者数は3,909人（1日あたり10.7人）であった。週末帰省や療養により実利用人員は契約者数より下回った。
- ・短期入所の年間延べ利用者数は543人（1日あたり1.5人）で過去最高となった。利用の多くは当法人の日中活動サービスとの併用であるが、法人外の利用も増加した。

### ③その他

- ・現状では単独で完結する事業規模では無いため、職種によっては他事業と兼務でこなしている。グループホームは事業の特性上も一定以上の運営規模があるほうが望ましく、地域の需要を様々な手法で見極め、今後の新たな事業展開を検討する必要がある。

## 5、拠点区分「センター」

「有田地域生活支援センターつくし」（一般・特定・障害児相談支援）

（市町村相談支援事業）

（在宅リハビリテーション推進強化事業）

（長期入院精神障害者地域移行促進事業）

「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」（基幹相談支援センター機能強化事業）

### ①事業・内容

一般相談支援、特定・障害児相談支援、受託事業として在宅リハビリテーション推進強化事業・長期入院精神障害者地域移行促進事業及び市町村相談支援事業、基幹相談支援センター機能強化事業を行った。担当職員で役割分担しつつ相互補完により運営合理化に努めた。

#### <一般・特定・障害児相談支援>

県指定の一般相談支援事業（地域移行・地域定着支援）、市町村指定の特定相談支援事業（計画作成）・障害児相談支援事業（計画作成・相談）を行った。

- ・一般相談支援：支援実績 3件
- ・特定相談支援：計画作成実績 186件・モニタリング実績129件
- ・障害児相談支援：計画作成実績 5件・モニタリング実績20件

#### <在宅リハビリテーション推進強化事業>

和歌山県から受託を継続した。契約した各分野の専門職（下記）とともに地域の家庭や事業所などへ訪問して下記の活動を行った。障がい・躓きの早期発見、早期療育の観点に務めた。

- ・在宅支援訪問リハビリ等指導事業（本年度実績 305件）

地域の家庭や施設・事業所などを訪問して、生活状況の把握、看護師による体調チェック・体調観察、保育士による療育支援、盲学校・ろう学校教員による視力聴力相談・学習支援、理学療法士による機能訓練・発達観察、音楽療法士による音楽療法などの支援活動や各種相談など

- ・施設支援一般指導事業（本年度実績 138件）

地域の学校、保育所、障がい福祉事業所などを訪問して、盲・ろう学校教員、保育士、理学療法士、音楽療法士による職員への各種助言・技術指導など

#### <長期入院精神障害者地域移行促進事業>

本年度より和歌山県から受託した。精神科病院に長期入院を継続している方の地域生活への移行の促進をすすめることを目的としている。医療・福祉・行政等と連携しながら、下記の活動を行った。

- ・病院を訪問、退院意欲の喚起を目的にした入院患者との面談。病棟での行事への参加。
- ・入院患者を対象に、ピアサポーター（入退院を経験した当事者）を招いての茶話会、地域資源体験ツアーの実施
- ・医療、福祉従事者のスキルアップのための研修の企画開催
- ・自立支援協議会との連携。地域の支援体制構築のための協議

#### <市町村相談支援事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から受託を継続した。和歌山県福祉事業団と共同で受託し、事業運営にあたっては同事業団「サポートセンターゆい」と連携し、役割を分担・協働し相談支援活動を行った。

- ・市町村相談支援（支援実績 232人・延べ3,459件：有田市80人・延べ1,376件、湯浅町72人・同752件、広川町41人・同655件、有田川町39人・同676件）

#### 主な活動内容

福祉サービスの利用等に関する支援、障がいや病状の理解に関する支援、健康・医療に関する支援、不安の解消・情緒安定に関する支援、保育・教育に関する支援、家族関係・人間関係に関する支援、家計・経済に関する支援、生活技術に関する支援、就労に関する支援、社会参加・余暇活動に関する支援、権利擁護に関する支援、その他（県及び市町村自立支援協議会への参画・研修の企画運営等）

#### <基幹相談支援センター等機能強化事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から受託を継続した。和歌山県福祉事業団と共同で受託し、「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」を共同運営した。「あねっと」は同事業団が主体となって運営し、当法人から職員1名が担当として活動した。

事業計画に沿って、毎月の定例会議によって事例共有等を行いながら下記の活動を実施した。

#### 主な活動内容

- ・相談支援の困難ケースへの対応
- ・圏域の自立支援協議会の運営
- ・各種相談機関との連携強化（連携会議の開催等）
- ・相談支援事業者の人材育成の支援（研修など）、専門的な指導・助言
- ・地域移行や各種制度の普及啓発
- ・その他圏域において専門的知見から必要と認められること

対応件数462件（うちつくし職員300件 ※他職員と重複対応有）

#### ②その他

- ・県人材育成部会に参画。県の主催する研修の企画運営や講師を担う。
- ・相談支援事業所の有志団体「和歌山県地域生活支援協議会」に参画。他圏域の相談支援事業所との連携強化や情報交換を図った。

# 令和元年度 事業所行事等実施状況

つくし共同作業所 (つ)、早月農園 (早)、カフェ&ベーカリー・オリーブ (オ)、あっぷるホーム (あ)

前半		後半			
4月	4.1	入所式・花見 (つ・早・オ)	10月	10.5	オリーブ秋祭り (つ・オ・早)
	4.7	昼食弁当会 (あ)		10.19	喫茶はやつき (早)
	4.20	喫茶はやつき (早)		10.28	レク:公園 (オ)
5月	5.18	喫茶はやつき (早)	11月	11.10	つくしバザー (つ・オ・早・あ)
	5.25	地域高齢者家庭配食活動 (早)		11.14、28	インフルエンザ予防接種 (早・つ・オ・あ)
	5.27	レク:買い物 (オ)		11.16	喫茶はやつき (早)
				11.23	地域高齢者家庭配食活動 (早)
6月	6.1	スポーツ交流会参加 (つ・早)	12月	11.25	健康診断 (つ・早・オ・あ)
	6.15	喫茶はやつき (早)		12.7、16	忘年会 (つ・早・オ)
	6.29	オリーブ11周年フェア (オ)		12.19	クリスマス会 (あ)
7月			12月	12.21	喫茶はやつき (早)
	7.7	後援会総会参加 (つ・早)		12.28~	年末年始休業 (つ・早)
	7.19	レク:映画鑑賞 (早)		12.29~	年末年始休業 (オ)
	7.20	喫茶はやつき (早)		~1.5	年末年始休業 (つ・早・オ)
	7.27	地域高齢者家庭配食活動 (早)		1.18	喫茶はやつき (早)
8月	7.29	レク:ドライブ (オ)	1月	1.25	地域高齢者家庭配食活動 (早)
	8.4	ふれあい夏まつり参加 (つ・オ・早)		1.27	レク:買い物 (オ)
	8.13~15	夏季休業 (つ・オ・早)		2.7	防災勉強会 (あ)
	8.17	喫茶はやつき (早)		2.15	喫茶はやつき (早)
9月	8.24	旅行:白浜 (あ)	2月	2.17	避難訓練 (オ)
	9.15	つくし運動会 (つ・オ・早・あ)		2.21	避難訓練 (つ)
	9.18	避難訓練 (あ)		2.26	避難訓練 (早)
	9.19	レク:バーベキュー (早)	3月	3.3	防災勉強会 (あ)
	9.19	避難訓練 (早)		3.21	喫茶はやつき:中止 (早)
	9.21	喫茶はやつき (早)		3.23	バス旅行:中止 (つ・オ・早・あ)
	9.26	避難訓練 (つ)		3.23	レク:公園 (オ)
	9.28	地域高齢者家庭配食活動 (早)		3.28	地域高齢者家庭配食活動 (早)
9.30	避難訓練 (オ)	3.30	レク:ハーバリウム (オ)		